

# データ利活用推進シティ宣言！

データ利活用で納得感のある、効率的で透明性のある市を目指します



## 裾野市 データ 利活用 推進本部

皆さんは“データ利活用”と聞くと、どのようなイメージを持つでしょうか？「難しそう」「利活用するのは当たり前でしょ?!」など、さまざまだと思います。データ利活用を進めることで、より納得感と透明性が高まることに加え、効率的な市政運営が可能になります。市では“難しそう”な取り組みを“当たり前”にするために、推進体制と計画をつくりました。

企画政策課

☎995-1804

### データ利活用の推進

#### 体制整備、計画策定、宣言

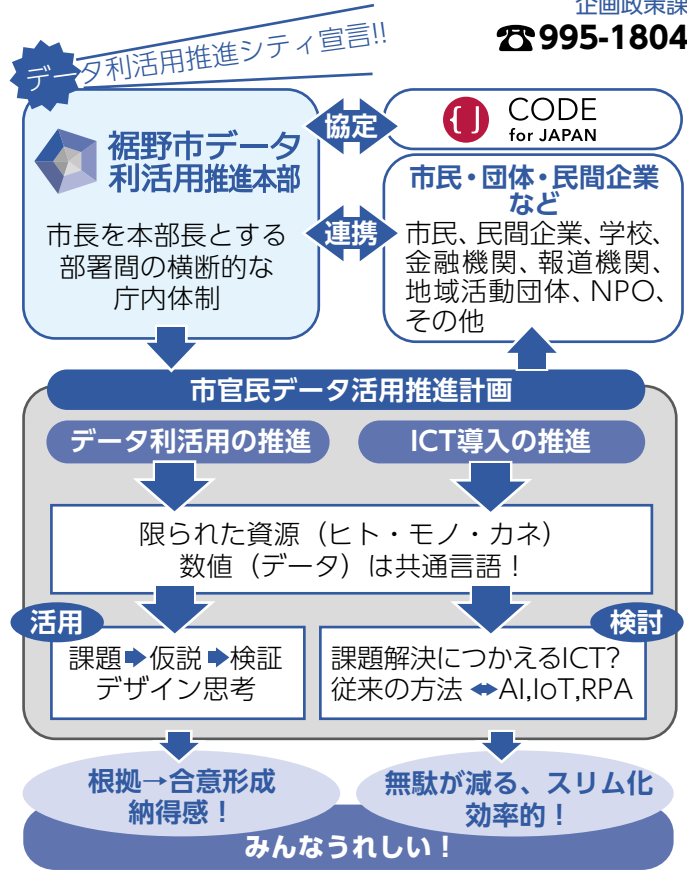
データ利活用の推進を市全体で取り組む体制として、8月に市データ利活用推進本部を設置しました。11月に市官民データ活用推進計画を策定し、11月29日(木)には、取り組みを内外に発信するため“データ利活用推進シティ宣言”をしました。

#### コード・フォー・ジャパンと協定締結

また同日、データ利活用分野で専門的な知見をもつ、一般社団法人コード・フォー・ジャパン（以下Code for Japan）と協定を締結し、政策立案におけるデータ利活用に関する取り組みの連携を開始しました。今年度中に政策立案に関する支援を受けた取り組みを実施します。

#### データ利活用で皆さんの生活は？

数値を根拠に分析・検証を進めることで、より効果的なサービスをより効率的に提供することが可能になります。データ利活用の利点を活かし、市民の皆さんと将来像を描き、共に考えていきます。



### これまでの取り組み



1

11月8日～

職員の研修を開始。EBPM（根拠に基づく政策立案）について、具体的な手順を学習し、業務に反映させていきます。講師はCode for Japanの市川博之さん（裾野市出身）です。



2

11月29日

「データ利活用推進シティ宣言」を行い取り組みを内外に発信しました。宣言によって、データ利活用の推進だけでなく民との連携を加速させます。



3

11月29日

Code for Japanと「政策立案におけるデータ利活用の推進に関するパートナーシップ協定」を締結しました。市の政策形成プロセスを高度化させます。



4

12月14日

東京大学公共政策大学院客員教授の奥村裕一さんを招いて、データ利活用をキーワードにした市民参加型の地域ゼミを開催しました。堰原区長の柏木広基さんが区での取り組みを発表しました。